

営農情報

第9号 平成27年8月19日発行

(大豆営農情報 8月号)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 大豆の生育概況

播種は7月15～20日頃及び7月24～31日が中心で、7月末までに概ね終了しました。適度な土壌水分により出芽・苗立ちは良好で、その後の生育もおおむね順調です。

2 ハスモンヨトウの防除

ハスモンヨトウの発生は平年よりやや多く、ほ場によっては白変葉が散見されます。分散前の幼虫が群生している白変葉は、見つけ次第除去してください。

大豆の開花期（8月下旬～9月上旬）に食害を受けると大きな減収につながる恐れがありますので、白変葉及び幼虫の発生状況を十分観察し、適期防除を実施しましょう。

※中・老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫期に散布を行いましょう。

○1回目防除

(10a当たり)

散布時期		農薬名	倍率	散布量 (10a)	薬量	対象病害虫
8月28日 ～9月3日	液剤	プレバソンフロアブル5	4000倍	100L	25ml	ハスモンヨトウ
	粉剤	マトリックジョーカー粉剤DL	—	4kg	—	ハスモンヨトウ カメムシ類

○2回目防除

(10a当たり)

散布時期		農薬名	倍率	散布量 (10a)	薬量	対象病害虫
9月中旬 ～下旬	液剤	プレバソンフロアブル5 キラップフロアブル トップジンM水和剤	4000倍 2000倍 1000倍	100L	25ml 50ml 100ml	ハスモンヨトウ カメムシ類 紫斑病
	粉剤	スミトップM粉剤	—	3～4kg	—	カメムシ類 紫斑病、子実害虫

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!